

## 11月の植物

### キクタニギク (別名：アワコガネギク) キク科

*Dendranthema boreale* (Makino) Kitam.

### シマカンギク (別名；アブラギク・ハマカンギク) キク科

*Dendranthema indicum* (L.) Des Moulins

今、唐津地方の道端に黄色い花を着けたキク属の植物が見られます。注意して見ると2種類あり、キクタニギクとシマカンギクです。

キクタニギクの名は京都の菊溪に由来し、径 1.5cm ほどの小さな花が泡の様に密集して咲きます。草丈は 1~1.5mにもなり、走出枝を出さないが枝分かれを繰り返して、こんもりとした大きな群落をつくります。花期は10月~11月で県内の離島や唐津市、玄海町の範囲に多く、東は玉島町、南は伊万里湾に面した地域で、伊万里・唐津道路では、府招付近までに見られ、特に肥前町・玄海町には多く分布し目立ちます。

中国北部・朝鮮半島に分布し、日本では長崎県平戸以北の玄界の島々から、本州では岩手県以南の太平洋側の近畿地方まで分布し、九州では佐賀・長崎・福岡(沖ノ島)で、宮崎県のものは一時期帰化だとされています。

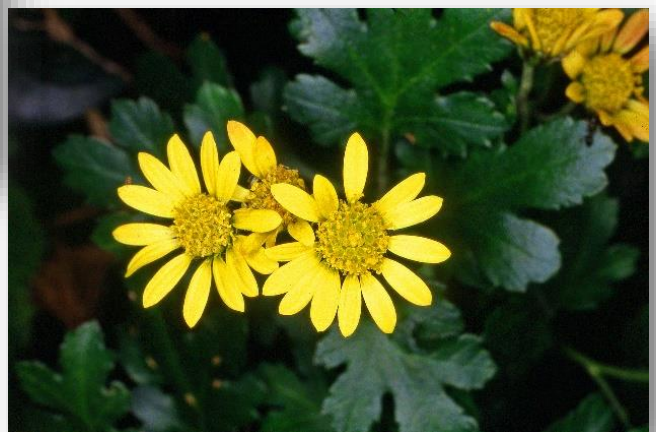
シマカンギクは、花径 2.5cm、葉の表面は光沢があり、裏面にはT字型の毛が生えています。走出枝を出して小群落をつくりますが、枝分かれは少なく、草丈も 30~80cm ほどです。花期は10月~12月。県内では山麓地方から山地帯に普通に見られ、脊振山地、天山八幡岳山地、多良岳山地に見られるキク属植物は本種であり、キクタニギクを見ることはありません。

近畿地方から四国・九州(南限は鹿児島県草垣島)および朝鮮・中国の暖帯に分布します。

(井上 英幸)



キクタニギク



シマカンギク